

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	つくしんぼのグループホーム 唐津
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	佐賀県唐津市和多田大土井2-35
記入者名 (管理者)	坪井 久美子
記入日	平成21年3月5日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ご利用者様、ひとりひとりが健やかに、良い環境で過ごして頂く様に資質を高め、知識を深め、技術向上し専門職として支援してまいります。	毎朝、朝礼にて全職員理念を確認し共有している。常にご利用者様が「その人らしい暮らしを継続するには・・・」を念頭に置き、支援しています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	母体の理念、事業所理念を毎日、朝礼で確認し共有はしている。	ご利用者様、ひとりひとりがグループホームでの生活、地域での暮らしが安心できる様に職員間で協議し、健やかに又、良い環境作りに日々取り組んでいます。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域推進会議を通じて理解して頂ける様にはしているが、会議に出席されない地域の人々には理解不十分とされます。	<input type="radio"/> 誰もがどの様な状態になっても、地域で暮らす大切さ、暮らすことができることを会議だけではなく、イベント等を開催したり、地域行事に積極的に参加させて頂き地域に説明を行いたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	以前に比べ、日常的なつき合いが若干増えました。が、まだまだ少ないです。ボランティア活動申請希望等提出しましたが返答はありませんでした。	<input type="radio"/> 気軽に立ち寄って頂ける様に考え、地域密着型サービス事業所としての役割を果たして行きたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区駐在員、老人会会長へ地域の行事等を確認し参加に努めています。回覧版を届けて頂き、利用者・職員がいつでも閲覧できる様に居間に置いています。	<input type="radio"/> まだまだ、地域の方々との交流が足りないので、今後は積極的に努めて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地区の老人会や地区の駐在員との連携も取りつつまだ貢献できていない	○	職員で検討し、地域密着型サービス事業所としての役割を果たし、地域貢献に努めていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	部 職員中、4人で自己評価を行いました。結果を全職員へ報告し、評価の意味を理解し、事業所の現状を再確認しました。		自己評価票を基に、今後も事業所改善に取り込んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、地域包括支援センター・地域住民・地区駐在員・老人会会長・家族等ご参加して頂き開催しています。皆様方にグループホームでの取り組み等報告し評価・提案を受けています。		提案等は直ちに協議し決行しています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当との月数回の面談にて情報等を聞きサービス向上に取り組む	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人はそれらを活用できるよう支援している	ご家族においては案内等を差し上げ、何かあれば話し合いを必要な方には十分な理解をしていただき活用できる体制を取っています。		必要な方には活用を支援していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員へ高齢者虐待防止法が平成18年4月1日から施行された事やどの様なことが虐待にあたるのかを具体的に説明し理解を求めました。又、約4日勤務を行なったら休日になる様にしました。自己健康管理に努め、虐待を起こさない体制を作りたいと思います。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<input type="checkbox"/> 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="checkbox"/> 重要事項を始め契約書を一緒に確認して頂いています。懇切・丁寧を心がけています。	<input type="checkbox"/> 十分な理解をして頂く為に、懇切・丁寧を心がけ不明な点はいつでもご連絡を頂く様をお願いしています。
13	<input type="checkbox"/> 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 日々、ご利用者様からご意見・不満・苦情を頂いています。直ちに解決できることは行い、協議が必要な時は協議し対応しています。	<input type="checkbox"/> ご意見・不満・苦情は記録に残し、運営に反映させています。
14	<input type="checkbox"/> 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に期的及び個々にあわせた報告をしている	<input type="checkbox"/> 定 ご家族様は都合の良い時に来訪されています。その際、利用者と逢われご家族から見て変化はないか等聞いています。日々の状況、健康状態について報告しています。又、要望についてもお尋ねしています。	<input type="checkbox"/> 来訪時に直接話をしたり、「つくしんぼ便り」を郵送し報告をしています。
15	<input type="checkbox"/> 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それら運営に反映させている	<input type="checkbox"/> なを 職員へ言い難いことは、管理者へ直接ご連絡頂く事もあります。その為、管理者は携帯電話を常備しています。又、管理者に言い難いことは「お気づき箱」を準備し記載をお願いしています。又、本社や行政への連絡等もお願いし、ご家族様が意見を言い易い様に配慮し運営に反映しています。	<input type="checkbox"/> 日報にご利用者様・ご家族様要望・苦情欄を設け記載し、直ちに解決し運営に反映しています。
16	<input type="checkbox"/> 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="checkbox"/> 日々の朝礼時、日々の業務時、月1回の職員会議等で反映させています。	<input type="checkbox"/> 会社全体の情報提供、方向性を伝達し事業所の運営に関する事項を伝達しています。常に職員と共に情報を共有し、共に考え運営を図っています。
17	<input type="checkbox"/> 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<input type="checkbox"/> い 当事業所は1ユニットであり、利点を活かして対応しています。	<input type="checkbox"/> 偶数月は外食を予定しています。その日は事故が無い様に人員に配慮しています。又、ご家族様が入院された時等必要時はご利用者様と共に御見舞いへ行っています。又、ご利用者様が入院された時はご家族様と検討し入院時の洗濯や見守り等必要なことをさせて頂いています。
18	<input type="checkbox"/> 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 異動は実施しておらず、離職に際しては、認知症高齢者の特性を理解し配慮しています。	<input type="checkbox"/>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<input type="checkbox"/> 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 毎月計画を立て研修を行います。又、ケアカンファレンスを毎月開催しています。	<input type="checkbox"/> 研修終了後は研修報告書を提出しています。
20	<input type="checkbox"/> 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 毎月、他グループホームの交流会へ参加し情報収集、勉強の場とさせて頂いています。	<input type="checkbox"/> 管理者だけではなく、職員も同席し情報収集の場、勉強会の場させて頂いています。
21	<input type="checkbox"/> 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 日勤帯の必要勤務時間数も基準より多くして、ゆとりの持てる勤務体制となっている。	<input type="checkbox"/>
22	<input type="checkbox"/> 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<input type="checkbox"/> 各月、必ず会議の中で研修を行い、職員のレベルアップに努めており、それぞれの事業所で実技指導等も行われている。	<input type="checkbox"/>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<input type="checkbox"/> 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまで、又日々行っています。	<input type="checkbox"/>
24	<input type="checkbox"/> 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまで、必要時は行っています。	<input type="checkbox"/>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま 必要としている支援を見極め、他のサービ 用も含めた対応に努めている	まず 意向を聞きながら、必要時は意見・提案をさせて頂き支援し ています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの はなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	はな 直ぐに入所せず、見学・お試し泊まり等をしなが りご利用者が不安・混乱しないようにご家族様 相談しながら行っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本 から学んだり、支えあう関係を築いている	人 ご利用者様と時を過ごし、行動を共にし、時には怒ったり・泣 いたり・笑ったりしています。ご利用者様を尊敬し人間学を学 んでいます。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて く関係を築いている	い 来訪時、挨拶しご利用者様のことを話したり・聞きながら共に 支える関係を築いています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	て 事業所内行事予定を計画し、ご家族様にも参加して頂く様 に「つくしんぼ便り」に予定表を添付してお送りしています。ご 家族様にご負担の無い程度案内をさせて頂いています。ご 利用者様、ご家族様が共に時を過ごせる機会を設けていま す。		年間予定表にはご利用者様の意向を反映し作成していま す。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	友人、親戚方々の電話もありご利用者様も喜んでおられま す。又、手紙を書かれるご利用者様の郵便をお預かりし 送付しています。毎月ご自宅へ帰られる方もおられます。 その際はご自宅送迎を無料で行っています。		ご利用者様にご連絡を頂いた場合「個人情報保護法」の 関係上、ご家族様に確認してお繋ぎしています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合 えるように努めている	病状によって「ひとりの時間が必要な方」「少数を好む方」「大 勢を好む方」と様々です。よく把握した上で調整しています。		ご利用者様同士関わりを持てる様に、共に運動(散歩含) 遊び・談話・家事等を行っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とするならば断ち切らないつきあいを行いたい。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、又定期的にご利用者様へお尋ねしケアプランへ反映しています。困難な場合もありますので本人本位に検討しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々、支援しながら常に情報収集・把握に努めています。		把握した内容は情報収集用紙に記載しています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	グループホーム介護計画書(ケアプラン)にある週間サービス計画書を総合的に把握し支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々、定期的にご利用者様へ意向の確認、ご家族様来訪時要望等の確認を行いケアプランに反映しています。又、主治医・訪問看護等の意見も反映しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	終了期間前に課題分析、モニタリング、ケアカンファレンスを行い、目標達成状況を確認し見直しを行なっています。又、変化が生じたケアプランは柔軟に作成しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は個人別に行い、日々記録しています。記録を基に、1日3回引継ぎを行い、ご利用者様情報を共有し自立支援、予防介護に向け統一された支援を行なっています。又、ケアプランにも反映しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様とご家族様が逢うときが少ないのでイベントを通して逢える時間・場所を提供しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要を感じボランティアの申請を唐津市役所、社会福祉協議会へ申請はしていますが今のところ返答はありません。年2回消防訓練を行い消防関係者の協力は頂いています。又、月1回唐津市より相談員来訪されます。		ご利用者様の為にも職員ばかりではなく外部者と触れ合うことで病状の進行予防に繋がると考えられます。今後も地域資源との協働について検討して行きます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人様、ご家族様が専門的なリハビリを希望され、主治医と相談の上、外来リハビリを週1回利用されています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席して頂き協働しています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎回受診には職員も立会い支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門病院へ受診しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	地域医療体制をとっています。 週1回訪問看護来訪があり、ご利用者の病状把握・身体変化の早期発見又は主治医との連携、職員指導等行っています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、できるだけ早期に退院できるように、関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて連携している	入院時、主治医の決定と緊急時の入院病院の確保を行っています。ご利用者が入院された場合、事業所はご家族様と相談し必要なことはさせて頂いています。その際に、医師や看護師、メディカルソーシャルワーカーと相談等に努めています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で共有している	事業所全体で重度化や終末期に向けた方針の共有が必要である。	○	平成21年3月23日第1回目の「ターミナルケア」についての研修予定である。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けたチームでの支援に今後取り組む必要がある。	○	研修を通じて全体で勉強会開催予定である。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人様・ご家族様の意向を理解、把握し調整を行っています。転出届けや医療・介護保険等書類整備、主治医・ケアマネジャーへの調整、情報提供を行い、ご利用者様・ご家族様の負担が少しでも軽減するようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよう言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない なり扱	ご利用者様の状況を把握し、その時に応じた言葉かけや対応をしているが、間違う時もあります。その為、ご利用者様を混乱させたり不愉快にさせてしまうこともあります。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけた わかる力に合わせた説明を行い、自分で たり納得しながら暮らせるように支援をし り、決 め て い る	自立支援とは自己選択・自己決定と理解しています。その都度、ご利用者様に尋ね決定して頂く様に支援しています。	年間行事や日々の過ごし方等、食事中に話したりご利用者様の意見が出せる場を作り決定して頂いています。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 人ひとりのペースを大切に、その日をどの 過ごしたいか、希望にそって支援している 一 よ う に	自立支援とは自己選択・自己決定と理解しています。その都度、ご利用者様に尋ね決定して頂く様に支援しています。	日々の過ごし方等、お茶の時間や食事中に話したりご利用者様の意見が出せる場を作り決定して頂いています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに 支援し、理容・美容は本人の望む店に行 けるよ うに 努 め て い る	起床時、その人らしい洋服に着替え、外出時希望される方は化粧をして出かけます。理容室と連携を図り、美容室へ行かれる方は行き、行かれない方はグループホームへ美容室来訪して頂いています。	今後も美容室との連携を図って行く。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好み や力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準 備や食事、片付けをしている	月曜日～土曜日は栄養士が管理する食事が届きます。共に配膳をし共に食べ片づけを行っています。日曜日は共に2時間かけて食事を作っています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、 好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日 常的に楽しめるよう支援している	日々や行事の際はご利用者様に好みを聞きお出ししています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	起床時間、排泄パターン、水分量、時間、食事内容等把握しトイレで排泄できる様に支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しむように支援している	ご利用者様の入浴曜日は決まっています。時間は具体的に決まっておらず、午後から入浴して頂いています。必要方にはほぼ毎日入浴して頂いています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼夜逆転を起こされたり、生活リズムが崩れなければご利用者様の意向に合わせています。		「何もないから横になる」と言う悪循環を起こさない様に日々工夫し支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	グループホーム介護計画書(ケアプラン)を基に支援しています。		共に家事をおこなったり、1人でおこなったり、買物・ドライブ等行っています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、金を所持したり使えるように支援している	買物の希望があれば、保管している所持金をお預かりし、ご利用者様へ支払いをして頂いています。レシート等を保管し出納帳を作成しています。毎月ご家族様へ出納帳へレシート等を添付し郵送しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	寒い日はなかなか散歩ができませんでした。天気の良い日はよく散歩をします。個別で対応しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともにかけられる機会をつくり、支援している	ご利用者様の意向に添い、誕生日に「故郷」巡りを予定しましたが病状悪化等もあり実現していない。	○	今後は実現できる様に取り組んでいきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様がこれまで大切にしてきた馴染みの方々やご家族様の関係が途切れない様にしています。		手紙を書いて頂いたらお預かりし郵送したり、直接郵便局へ共に行きお出ししています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問して頂く様に、訪問時間等は決めていません。又、ゆっくり過ごして頂ける様に場所の工夫、椅子を増やしました。		今後も居心地よく過ごせる様に配慮致します。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	今のところ、身体拘束は行っていません。しかし、危険が生じる場合はご本人様・ご家族様へ説明を行い了解を頂いた上でを行い、身体拘束理由の書類を作成し状況、時間等の記録を行います。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防災の観点から9:00～18:00迄開放しています。しかし、ご利用者様が不穏状態になられ危険が予測される場合は施錠致します。		玄関を開閉すると柔らかいチャイムが事業所全体になります。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中ご利用者様は全体的に居間で過ごされることが多いです。居間に職員が必ず常駐する様にしています。夜間は居室で過ごされますが、居間に常駐することで音が聞こえ居室での過ごし方がわかります。又、常に人数確認を昼夜間問わず行っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご利用者様が必要な物は居室にあります。しかし、ご本人様に又、他ご利用者様に危険が生じる時は説明しお預かりしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒハリハットを活用し予測できる事故は未然に防ぐ様にしています。事故を起こしたら事故報告書を作成し同じ事故を繰り返さない様に全職員へ通知し予防しています。又、月1回の職員会議で再度検討しています。毎月定期的に実践研修を行い予防に取り組んでいます。		ご利用者に合わせ転倒の原因等検討し対応しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職 毎月定期的に緊急対応マニュアルに添って実践しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月定期的に消防訓練等行っていますが、地域の方々への協力はお願いしていません。		今後は地域の協力が頂ける様に運営推進会議時に依頼したり、地域の方々とのコミュニケーションを図りながら行っていきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族様来訪時、ご利用者の病状進行について説明をしています。病状進行に伴い、考えられる危険を説明していますが、対応策は話し合っていない。	○	今後はご家族様とも対応策について話し合って行きます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ご利用者様に変化等が生じ、対応検討必要時は直ちに職員が集まり、情報共有し対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者個人ファイルに「薬説明書」を保管しています。用途等不明な点は直ぐに確認できるようにしています。各ご利用者様薬保管箱を各自準備し服薬時に分け保管しています。薬を準備する職員、服薬させる職員を別々にし2重チェックし服薬ミスが無い様に、又服薬変更があった場合は申し送りで報告し変化等に努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体をかす働きかけ等に取り組んでいる	動 主治医と相談の上、下剤等の調整を行っています。又、ご本人様・ご家族様と相談の上、便秘の原因を探り、水分・食事内容・量・活動・排泄リズムを検討し対応しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時のうがい、毎食後の歯磨きをご利用者に合わせて行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、慣に応じた支援をしている	普通食を中心にご利用者に合わせ、おにぎり・刻み食・等準備しています。又、むせのある方はとろみを付け誤嚥予防を行っています。		1人ひとりの状態に合わせ、食事準備致します。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを基に実行しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	包丁・まな板・ふきんは毎日塩素系で消毒し、食器類は洗浄後乾燥機使用し清潔に努めています。コンロ回りも清潔にし食材や保管物の清潔・整理整頓に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	民家改造型を活かし、庭には季節の花が咲いています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花を生け、ご利用者様やお客様に楽しんで頂いています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	場所や椅子、円卓等を準備し、空間作りをしています。		側に本棚を設置し、自由に読書ができる空間作りをしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と話しながら、使い慣れたものや好みのものをして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	相 活 か し て い る 入所当時はご本人様・ご家族様と相談し工夫をしていたが、病状進行に伴い、身体状態等変化があり事業所だけの判断で変更したこともあります。	○	今後はご家族様とも相談の上、ご利用者様が居心地よく過ごせる様に工夫を行って行きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気 な に 必要時に応じて換気を行い、感染予防等を行っています。各居室に温度計・湿度計を設置しご利用者様にに応じてこまめに調整しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	る 1人ひとりの状態に合わせて、手すり・段差解消等行っています。 民家改造型の建物の為、最初から段差がない・手すり設置建物ではありません。ご利用者様の状況に合わせて少しずつ必要な物を設置し安全確保に努めています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	る ご利用者様が成功体験をでき、自信を持たれ安心かつ、生き活きと過ごして頂く様に工夫をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ活動できるように活かしている	り、 天気の良い日は縁側・ベランダでお茶を頂いたり、談話を楽しんだりしています。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ご利用者様の事を良く理解し、日々事故がないように観察し支援して行きます。
- ・それぞれ違う人生を歩んで来た方々が、ひとつの家へ集まり暮らし、各々価値観が異なるのは当然の事で、話が食い違ったり、喧嘩が起こるのも出てくると思います。それを理解して受け止めて行くところが当事業所の良いところと思います。